

## 小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画 令和5年度進捗状況の概要

## 1 計画について

## (1) 計画の目的

特別な支援を必要とするこどもたちへの取組を一体化させ、小平市のすべてのこどもたちが生き生きと育っていくことを目指して、保健・医療、福祉、子育て、教育等の関係各課が連携し、乳幼児期から学校卒業後までを見通した特別支援教育を全庁的に推進するための計画を策定した。

## (2) 計画期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

## (3) 施策の体系

3つの基本指針「ライフステージに応じた特別支援教育推進体制の整備」、「関係機関の連携によるネットワークの構築」、「理解・啓発、相談体制の充実」に基づき定めた14の基本的施策から、延べ全54事業を展開し、うち延べ11事業を重点事業とした。重点事業の適切な進行管理及びその他事業の充実や継続を推進することにより、本計画の基本理念の実現を目指すものとしている。

## 2 進捗状況について

## (1) 構成

14施策54事業（うち重点事業延べ11事業）について、令和5年度進捗状況を報告している。項目は、施策、事業名、事業内容、担当課・事業者、方向性及び実績を掲載している。

## (2) 令和5年度実績

概ね計画に則り順調に事業を実施するとともに、重点事業についても計画内容の推進が図られた。

## (3) 重点事業の進捗状況（11事業のうち、2事業が再掲）

## ①ライフステージに応じた特別支援教育推進体制の整備

## ア 児童発達支援センターの設置及び発達支援相談の実施

こどもの発達に関する相談窓口の運営を実施した。

## イ 学校生活支援シート、個別指導計画の作成と活用

令和4年度に作成した教員向け手引きの周知を行い、学校生活支援シート及び個別指導計画の作成及び活用の推進を図った。

## ウ 読み書きに困難のある児童・生徒の指導の充実

ダイジー教科書を教育委員会で一括申請し、読み書きに困難のある児童・生徒が速やかに音声教材を使用できる環境を整えた。

## エ 合理的配慮の理解・啓発の推進、対応

特別支援教育に関するリーフレットを新入生の保護者に配付し、合理的配慮への理解・啓発の推進を図った。

## オ ICT機器の拡充による学習支援

学習者用端末の効果的な活用についての教員の研修会を実施し、学校における学習者用端末活用の推進を図った。

## ②関係機関の連携によるネットワークの構築

## ア こげら就学支援シートの活用

小学校教員、幼稚園の教諭及び保育園の保育士がこげら就学支援シートの活用方法及び就学前からの切れ目ない情報の引継ぎの在り方について情報交換を行った。

イ 副籍交流の充実

間接交流及び対面での直接交流のほか、来校しての直接交流が難しい場合は、ICT 機器を活用し、オンラインでの交流も行った。

ウ 学校と放課後等デイサービス間での育ちをつなぐ取組の推進

各学校において、保護者の要望等に応じて放課後等デイサービス事業者に個別指導計画の情報共有を行った。

③理解・啓発、相談体制の充実

ア 交流及び共同学習の推進

交流及び共同学習の在り方をテーマに研修を行い、教員の指導力向上を図った。

イ 副籍交流の充実（再掲）

ウ 児童発達支援センターの設置及び発達支援相談の実施（再掲）

3 計画の推進体制

(1) 組織体制

令和6年9月27日（金）開催予定の「小平市特別支援教育推進委員会」において、進捗状況を報告する。

(2) 報告・公表について

①市議会議員への情報提供

令和6年9月30日（月）

②市ホームページ及び市政資料コーナーでの公表

令和6年9月30日（月）